

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	自然免疫の包括的理解
研究代表者	審良 静男
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>応募者は、これまで自然免疫に働く各種の Toll 様受容体 (TLR) の生理的意義を解明して大きな業績を上げ、国際的に高い評価を得てきた。本研究は、これらの研究から生じた <b>Regnase</b> 分子群による炎症・免疫関連遺伝子 <b>mRNA</b> の安定性制御と疾患特異的な新規 <b>M2</b> マクロファージサブセットの同定と分化メカニズムを解明し、<b>TLR</b> を介する自然免疫を包括的に理解しようとするものである。いずれも、応募者自身の独創的知見に基づいており、既に多くの予備的知見も得ているため、研究目的達成の可能性は高い。本研究の遂行により、免疫学分野に限らず、病態理解を促進することにより医学全体の発展に貢献することが期待される。</p> <p>以上により、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>